

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 都市部の公園・東部グループ（指定管理者：アメニス東部地区グループ 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
1	東白鬚公園	墨田区堤通二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「木々のビフォーアフター」の仕上げ作業における林床の切り株の切除は、安全の観点から高く評価できる。 ・管理所のクラフトコーナーの設置は地域とのつながりを深め、地域の公園であることを印象付けている点で評価できる。 ・大学との連携による「オフスクールパーク」、墨田小学校との防災プログラムの実施等について、地域とのネットワーク強化や地域の防災体制の強化に資する取組として評価できる。 ・今後、地域の公園としての楽しみ方を一層広めることを望む。 ・自主事業イベント「みんなで鯉のぼりを作ろう」では、都庁記者クラブでプレス発表を行うことで、イベント前日から当日にテレビで取り上げられるなど多様な媒体による情報発信を行った。これにより、前年度を上回る参加者数を記録し、利用者拡大及び公園ブランド力の向上に寄与した。
2	猿江恩賜公園	江東区住吉二丁目、毛利二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もがストレスなく来園できる環境づくりは重要であり、粘り強い対応によりホームレステントが撤去されたことや犬連れマナー向上を図ったことは評価できる。 ・樹木が密集していた植栽地の間引き、さらに美しい景観づくり（プチキューケンホフ花壇）を進めるなど、公園の植物管理と魅力ある花壇づくりを融合させ、公園の魅力向上につなげた。 ・池の用水を工業用水に代えることにより、経費削減を図った。 ・来園や参加の動機醸成を目的とした自然観察会や造園フェスティバルが定着し、さらに発展拡大していることは大いに評価したい。 ・田んぼやプレイパークの管理への子ども・保護者の参加や、パークミーティングなど、協働型の体制づくりに力を入れている。 ・体験型防災プログラムの実施等による地域防災活動への貢献や、園内管理等における近隣学校や地元ボランティアと連携強化に努めた。特に職業訓練を積極的に受け入れて障害者の活動サポートに取り組んだことは、公園の役割をさらに広げるものと評価できる。 ・巨大サルのモニュメントを製作し、公園の話題づくりを行った。また、マスコミに情報提供することで、新聞、ケーブルテレビ等に取り上げられ、公園のPRにつながった。 ・東部グループの主力公園として、利用者満足度の向上などにさらなる努力を望みたい。
3	亀戸中央公園	江東区亀戸八・九丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・中高木の植物名、位置図の作成、樹名板の設置を行い、テーマに沿って植物情報を充実させたことは、来園者の周遊行動に効果が見込まれ評価できる。 ・園内に咲いている植物の情報を頻繁に更新し、利用者への情報発信に務めている。 ・自然体験イベント、サザンカガイドツアーなど、来園動機の醸成、顧客満足度の向上につなげた取組が評価できる。 ・樹木維持管理とあわせ樹木に特化したイベントを実施することで、「樹木がよく分かる公園」というテーマの実現が進んでいる。
4	大島小松川公園	江東区大島九丁目、江戸川区小松川一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・六価クロム対策について、地道な日常点検等により的確に行われていることを評価する。 ・犬のしつけ教室の開催は、イベントを通じた課題解決の一つとして評価できる。 ・人通りの少ない管理所近くに喫煙コーナーを設けるなど、利用者からの要望に対し迅速に対応したことを評価する。 ・利用者ニーズを踏まえたキッチンカーの継続運営、バーベキュー広場のゴミ回収有料化など、引き続き食に関する利用者のニーズにあわせたサービス改善を望む。 ・利用者の要望を受けてのキッチンカーの導入など、即効性のある対応をし、利用者の利便性向上につなげた点を評価する。 ・雄大な自由の広場を持った公園であり、様々な可能性に挑戦していくことを望む。

5	尾久の原公園	荒川区東尾久七丁目、町屋五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイオキシン対策工事及び竣工後の閉鎖区域の開放に向けた準備に、都と連携して周到に取り組んだことは評価できる。 ・利用者の満足度は、前年を上回り高い評価である。 ・職員の労務災害発生に係り、安全衛生管理や報告に問題があった点は改善を要する。 ・コミュニケーションの重要性は利用者にも職員にも言えることであり、事故原因の話し合いが再発防止を促すと考えられる。
6	汐入公園	荒川区南千住八丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・噴水ピットは、来園者が衛生的かつ快適に利用できるよう、適切に設備点検、清掃、試運転を行っている。 ・多目的広場の砂塵飛散について、飛散防止処置として広場全域に塩化カルシウムを散布するなど、適切に対応した。 ・「汐入水辺フェスタ」や「汐入まつり」などのイベントを自治体や自治会と共同して開催するなど、「ファミリーで楽しめる芝生と水の公園」という公園テーマを具現化し、地域の核となる公園の役割を果たしており、評価できる。 ・隅田川花火大会において、事前に関係機関との入念な調整、打合せを実施し、安全措置について警備員増員やグループ公園からスタッフの応援体制を整えて対応し、事故、苦情等を発生させずに終了させたことは評価できる。 ・ハーブボランティアなど、地域の人材育成により体験プログラムが広がっている。
7	東綾瀬公園	足立区東綾瀬一・二・三丁目、綾瀬三・五・六丁目、谷中一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的広場の利用にあたり、利用者を招集して利用調整会議を開催した。この会議を通してゲートボール団体間のコミュニケーションを円滑にし、公園管理者との信頼関係を構築できたことは、トラブル、苦情の防止につながる利用者間の調整に貢献する取組として高く評価できる。 ・公園のテーマに沿って、公園利用の調整、地元警察との災害パートナーシップ、新規清掃ボランティア発足、情報発信新聞「ハートフルあやせ」の発刊など着々と実績を上げており、高く評価できる。 ・「東綾瀬公園オータムフェスタ」を初めて開催するなど、地域、近隣施設等との連携拡大により公園を核とした地域コミュニティの拡大・充実に努めた。また、公園清掃、植栽管理にボランティアを活用し、都民協働を実現しており、高く評価できる。 ・利用者の声を聴くに留まらず、ボランティアを活用した取組を継続していることが高い評価を続けている理由となっており、継続的な取組に期待する。
8	中川公園	足立区中川五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームレスの滞留箇所である四阿の衛生状態を保つため定期的な清掃、特別清掃などを実施した。 ・粘り強い対応により、四阿に滞留していたホームレスを施設に入居させたことは評価できる。 ・イベントやサービスの工夫で子どもたちに公園の魅力を訴えたことなどは評価できる。 ・砂場で遊べる多様な道具を準備して貸出を行うサービス、絵画コンクールの実施など、イベントやサービスの工夫で子どもたちに公園の魅力を訴えたことなどは評価できる。 ・ホームレスの存在が事業展開に制限があったのだと思われるが、今後の事業効果の拡大に期待する。
9	宇喜田公園	江戸川区北葛西三丁目、宇喜田町	A	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回の中で多くの苦情に対応することは困難である中、聞き取りと対応策立案、説明によって一つひとつの案件を解決していく姿勢は公園管理の基本として評価できる。 ・犬連れのマナー向上に向けた教室及びイベントの実施、近隣住民からの苦情・要望に対する早期の対応は評価できる。 ・苦情への迅速な対応は評価できるが、管理的に偏らぬよう住民同士の対話の場を設けるなどの取組も期待したい。 ・「ドングリと草笛イベント」に多くの親子連れが参加した。園内植物を用いた工作により、学びと公園に親しんでいただく機会になった。

グループ全般	<ul style="list-style-type: none">・「木々のビフォーアフター」により各公園の景観改善と見通しの確保による安心感の醸成が実現できた。・「木々のビフォーアフター」が一段落し、公園の利用基盤がやっと整ったといえる。これからは、基盤の整った気持ちの良い公園をどのように楽しんでもらうかの段階であり、各公園で利用の芽出しは始まっているので、これをどのように育てていくかが重要である。利用者と協働で進むこの取組に期待する。・犬連れ利用者に対する利用指導、マナーアップ講習など、公園の快適性に貢献している。・公園に隣接する地域との連携は広がりつつあるが、さらに広いエリアに対してもイベント情報の発信を通じて、公園に対する関心や理解の向上につなげて欲しい。・鬱蒼とした樹林地を明るい樹林地に変える樹林地安全管理の取組は、他の開園後長期間を経た公園にも展開可能な取組である。尾久の原公園や大島小松川公園における土壌汚染へのきめ細かな対応は評価したい。・公園管理の効率化を図ったほか、自治体や地域住民等との連携、公園を核としたコミュニティづくりなどに積極的に取り組んでおり、評価できる。・地域コミュニティを核とした自主事業の展開並びに防災関連の取組は評価でき、利用者満足度も上昇傾向にあるものの、公園により取組にばらつきが感じられる。
--------	--

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 都市部の公園・南部グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
10	日比谷公園	千代田区日比谷公園	S	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン対策、国会周辺における大規模デモ対応、ホームレス自立支援など都心の公園が抱える課題に取り組み、成果を上げた。 ・本園は全国の都市公園にとって管理運営に関する指標である。その上で、質の高い維持管理、観光客を含む利用者サービス、周辺地域を巻き込んだイベント及び運動の展開等、諸問題に積極的に取り組んだ点は評価できる。 ・石垣周辺における実生木の撤去は、江戸城の景観を蘇らせることにつながり、東京らしさをアピールする好ましい取組である。 ・公園の歴史を伝える英文併記の解説板の新設、外国語マップの作成など、外国人来園者への対応が充実されてきている。 ・都心のオアシスとしての維持管理にとどまらず、観光的な魅力づくりに力を入れている点が評価できる。 ・歴史的な公園としてその価値を更に広く発信する手法の充実が望まれる。
11	芝公園	港区芝公園一・二・三・四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設に隣接するトイレについて、利用頻度や要望を踏まえ、便器の改修及びベビーシート並びにベビーチェアの設置を行った。その結果、来園者への利便性を向上させたことは評価できる。 ・マナー啓発活動やごみ箱の集約設置及び清掃を行う「クリーン&グリーン活動」により、公園の基本となる清潔さや美観の向上が図られた。 ・日本で最初の公園の一つであるという歴史性や、もみじ谷についての知見などを外国人来園者に発信していけるよう、今後の取組に期待する。 ・多地区に分かれている公園として、今後は各地区の特徴を生かした魅力向上を展開していくことを望む。
12	林試の森公園	目黒区下目黒五丁目、品川区小山台二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内に無許可で設置された猫小屋対策のため、ボランティア団体を立ち上げ、その統一ルールに基づき、計画的な給餌など適正な措置を講じた結果、20カ所の猫小屋を撤去することに成功した。ボランティアを活用して猫問題の解決を図った手法は評価できる。今後は他の公園での展開を望みたい。 ・「シャガ植え隊」の活動推進、実生木処理や笹刈りによる林床の整備、低木植栽等により、適切な植物生育環境が維持されている。 ・春と秋に「林試の森フェスタ」を開催し、コンサートやクラフトコーナー、「森の探検隊」など多彩なメニューを用意することで、イベントだけではなく、本園自体の魅力向上につながった。近隣鉄道駅にポスターを掲示するなど、広報活動に力を入れた結果、来場者数が過去最高となったことは高く評価できる。
13	蘆花恒春園	世田谷区粕谷一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「蘆花をしのぶ集い」の開催など歴史的文化的資産を持つ公園の特徴を踏まえ、その魅力を広めるプログラムの充実を図ったことは高く評価できる。 ・「年末イルミネーション」など季節感を感じさせるイベントを催したことは、本園の魅力向上につながる取組として評価できる。 ・地域性・歴史性を高めるイベントを地域やボランティアと連携して開催し、成果を上げたことは評価できる。 ・更なる利用者の満足向上につなげるため、徳富蘆花という本園の特徴を生かした取組に加え、公園利用者が持つその他のニーズにも対応していくことが重要である。
14	砧公園	世田谷区砧公園、大蔵一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内でのノーリードを防止するため、早朝パトロールを夏期及び毎月1回実施し、巡回監視や飼主への利用説明など、ルールの周知に努めた。 ・ボランティア団体との協働により、「バラを観る会」を春と秋に開催した。人気投票の実施やユニバーサルデザインの採用等見せ方を工夫した結果、4日間で約2,000人の参加者を集め、公園の利用促進に寄与した。

15	祖師谷公園	世田谷区上祖師谷三・四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地や公道に接する部分が多い本園では、良好な景観を維持するため、近隣公園の職員を集め、短期間で樹木剪定を実施した。その結果、景観の確保のみならず、視認性を向上させ、防犯に寄与する結果となった。 ・地域住民と一緒に清掃活動を行うことにより「いこいのコンサート」の開催を支援したことは、地域と一体となった公園運営の方向性を示したものであり、高く評価できる。
16	青山公園	港区六本木七丁目、南青山一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地元警察署と連携し、美化清掃や巡回指導を行うとともに、毎日のアメニティ巡回においては、園内にテントを不法設置していたホームレスに対して、粘り強く声掛けを実施することで、施設への入居につなげることができた。 ・サービスセンターからの働きかけにより、地元地域や近隣企業などと協力した町内及び公園一帯の清掃活動を企画・実施した。活動を通じて来園者のマナー向上による園内美化に寄与するとともに、関係機関との連携を強化し、地域美化と防犯力の向上につなげた。今後の進展に期待したい。
17	明治公園	新宿区霞ヶ丘町、渋谷区千駄木一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新国立競技場整備計画に伴い、公園としての利用範囲が制限されたことにより、公園の魅力向上や利用促進につながる事業の実施に制限を受けざるを得なかったが、東京都などと連携したホームレス対策、工事占用、一部廃園等に適切に対応したことは評価できる。 ・新国立競技場整備計画に伴う一部廃園に係る現地対応（巡回強化、告知・告示看板掲示等）を行い、利用者に対する適切な措置を講じた。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・樹木管理計画に基づく適正な密度管理、他公園との共同作業による集中的な手入れ作業の実施により、健全で安心な植物空間の育成に寄与している。 ・都心部あるいは住宅街に存する公園ならではの諸課題に適切に対応するとともに、自治体や住民等と連携して個々の地域特性に応じたイベントの開催や園内管理を実施したことは、高く評価できる。 ・当該地域は外国人も多く訪れる地域である。そのため、外国人の視点から見た公園の魅力を、積極的に海外向けに発信することが望まれる。 ・今後は、公園ごとのオリジナリティある情報を、より多く発信することを期待する。 ・公園全体での事業の取組において、自治体や近隣企業など地域が主体的に動く体制が構築されると、更に効果の高い公園管理運営が可能になると考える。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 都市部の公園・北部グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
18	戸山公園	新宿区戸山二・三丁目、大久保三丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・都民協働による園内美化、近隣施設等と連携した防災訓練の実施などに取り組み、成果を上げた点が、全体を通して高く評価できる。 ・箱根山にツツジを新たに植栽するとともに、案内板の設置や職員の解説などにより、ツツジの名所となるよう公園の魅力向上に努めている。その結果、箱根山が公園の貴重な資源として認知されてきた点を評価する。 ・周辺の教育施設等も参加しての防災訓練や、地域における「あいさつ運動」の提唱、さらには近隣の学校や企業の参加する「クリーンアップ作戦」の実践など、地域活動に対する調整機能を高めている。 ・公園の歴史を掘り起こし、観光化に尽力している点が評価できる。 ・世界に向けた情報発信対策が来園者、特に外国人来園者へのアピールにつながっている。
19	善福寺公園	杉並区善福寺二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・長年問題となっていた猫小屋について、設置者に対し粘り強い説得を行った結果、全ての小屋を撤去し、不適正利用の是正及び景観を改善したことは高く評価できる。 ・地元の小学校と良好な関係を築き、総合学習を誘致した結果、新規3団体を含め、延べ約2,400人（前年比7%増）を受け入れた。新たに昆虫や野鳥の解説資料を作成するなど、公園の自然、歴史及び文化に係る学習体験の充実につなげた点とあわせて評価したい。 ・利用者満足度が前年度を下回っていることから、原因究明と対応策の検討を望む。
20	浮間公園	板橋区舟渡二丁目、北区浮間二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームレス退去後に散策路を設置して環境改善を図ったことは評価できる。 ・来園者に公園の魅力を発見・再認識してもらうために、「浮間公園魅力アップデイ」の充実を図った点は評価できる。 ・サクラソウや本園の歴史を紹介する大型パネルを製作・展示し、地域の歴史や文化を普及することができた。 ・「メダカの美術館」という、公園の特徴を生かし、来園者の心を捉えた取組は評価できる。
21	赤塚公園	板橋区高島平三丁目、徳丸七・八丁目、四葉二丁目、大門、赤塚四・五・八丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・長年の利用により老朽化が見られる陸上競技場走路において、維持補修を実施した結果、不陸の解消、排水性の改善により良好な施設環境が整った。 ・ボランティアと連携し、花壇管理や広場における柵の補修や情報ボードの張替えを行った点は評価できる。 ・「ニリンソウ観察Day」について、区立植物園と連携して広報活動を行うなど積極的なPRを実施した結果、参加者は前年度の2.2倍となった。

22	石神井公園	練馬区石神井台一・二丁目、石神井町五丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に関する意見や要望が多く寄せられる本園において、迅速かつ適切な対応を行っていることは、公園管理の基本として評価できる。 ・かいぼりによる生態系保全への取組は、地域への発信力も高く評価できる。 ・歴史や自然の魅力の発信にかかわる事業が充実している。 ・野球場利用者の更衣に関する苦情に対処し、更衣スペースを提供したことは評価できる。 ・「歴史ガイド」を複数回実施し、本園や地域の歴史を広く発信した。地域の歴史を発信するとともに、公園に対する愛着を高めたことは評価できる。 ・本園の今昔の様子が対比できる絵葉書セットを新たに作成し、配布を行うなど、公園の魅力創出を積極的に実施している。本園の昔を知ることで現在の楽しみ方にも魅力を増すことができている点は評価できる。 ・ボランティアと連携した自然観察会を実施し、参加者は前年度の約1.5倍となっており、評価できる。 ・本園は数年間にわたり高評価が続いている。このため、現在の管理施策に継続して取り組まれない。
23	大泉中央公園	練馬区大泉学園町九丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちょうの里再生事業」では、生息環境を改善することにより、新たに3種の蝶を確認することができた。 ・蝶の幼虫をデザインした着ぐるみの活用や携帯クリーナーの配布によるPRを図った結果、蝶のチェックシート配布数は、前年度の1.7倍となり、蝶の里という本園のイメージが定着してきている。 ・「サンドアートイベント」では、職員が手作りの木枠を使用し、早朝から念入りに準備を行った結果、参加者が心ゆくまで作品作りを楽しむことができた。このような公園の魅力を高めるための積極的な取組は評価できる。 ・「ちょうの里再生事業」は長期的な対応に適した施策である。今後は当該事業を核とし、公園の認知度を更に高めてもらいたい。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・各公園の個性化が際立っており、グループ全体のバランスも良好である。 ・公園それぞれが持つ特色や環境を十分把握した上で、各園オリジナルのイベントや普及啓発事業に積極的に取り組んでいることは評価できる。 ・視点を少し変えた取組が効果を上げている。 ・各公園の持つ潜在的な魅力を引き出し、公園利用の幅を広げている。さらに、より広域に公園の魅力を発信されると良い。緑の資源及び自然環境並びに歴史文化など、地元以外の都民にとっても訪れたいと感じる魅力を広く発信していくことを期待する。 ・各公園の特色にあわせた、現場職員の思いが伝わるSNS等での情報発信を望む。 ・潜在的な魅力を有する公園を抱えながら、成果という点ではより一層の対応が望まれる。また、各公園の景観という観点からも対策を検討されたい。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 狭山丘陵グループ（指定管理者：西武・狭山丘陵パートナーズ 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
24	狭山公園	東村山市多摩湖町二・三丁目、東大和市多摩湖四丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・他事例が少なくノウハウが蓄積されていない中でかいぼりを実施し、外来種の駆除と貴重種の発見につなげ、生物多様性の保全とその普及啓発を図った点が高く評価できる。今後のモニタリング調査結果に期待したい。 ・狭山丘陵の広域連携プロジェクトである「SAYAMA HILLS WEEK」の中心公園として「SAYAMA HILLS DAY」をはじめとした各種のイベントを開催し、公園の魅力や地域との連携を高めたことは高く評価できる。 ・都民協働による動植物の生息域保全の取組や生物多様性向上の取組などにより、生態系豊かな環境の保全と活用の試みがうまくつながって、広がりを見せている。 ・売店を要望する利用者の声にケータリング車で対応するなどフットワークの良さが評価できる。 ・利用者満足度調査においても、各評価項目において高い評価を得ている。 ・これまでの各施策の成果が現れてきており、引き続き、魅力の向上を望む。
25	八国山緑地	東村山市諏訪町二・三丁目、多摩湖町四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・湿地保全と再生やキンランの保全など生物多様性に配慮した取組は評価できる。今後、湿地再生のための明確な計画策定の実現に期待する。 ・団体向け狭山丘陵ガイドプログラムを新規実施し、公園の自然や歴史、環境保全や都民協働の取組等を紹介するプログラムを展開した。 ・「八国山フォレストワーク」の開催、各種媒体による公園の魅力発信に取り組んだことは評価できる。 ・ボランティア体験講座「八国山フォレストワーク」受講者やNPO等との連携により、里山環境の保全、多様な生物生育環境の創出の実現を望む。 ・利用者満足度調査の施設の清潔さ項目において前年を大きく下回る結果が見られるが、その原因究明と対応を望む。
26	東大和公園	東大和市湖畔三丁目、高木一丁目、狭山三丁目、奈良橋二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・希少なハルゼミとアカマツ林を保全するため、薬剤の樹幹注入を実施し、あわせてハルゼミの生息確認調査を行ったことは評価できる。 ・池の選択的除草により、コツブマハリイ、ミゾコウジュの生育を阻害する植生の繁茂を抑制するなど、生物多様性に配慮した管理を進めた。 ・防犯対策としての笹刈りが効果を上げたことは評価できる。 ・樹木の伐採や下草刈への住民参加のほか、住民参加を促す新たな仕組みづくりへの積極的な取組が望まれる。

27	野山北・六道山公園	武蔵村山市本町三・五・六丁目、三ツ木、岸、瑞穂町石畑、殿ヶ谷、高根	S	<ul style="list-style-type: none"> ・保全活用計画に基づき草地管理計画の検討を行い、タマノカンアオイ等希少種の保全、丸山やエケ入谷戸湿地における動植物の生息、生育状況の確認、モニタリング調査、希少種の発芽、埋土種子からの再生等、生物多様性に配慮した管理を進めたことは高く評価できる。 ・継続的なきめ細かな植生管理によって、フロラが豊かになっていることは大いに評価したい。 ・各種講座修了者が公園ボランティア活動を行う好循環が生まれ、ボランティア登録者数は過去最高の425名を記録、公園づくりの魅力を発信した点が評価できる。 ・スタッフの熱意により、ボランティアの自主的な組織化や全体コーディネイトが大変スムーズに行われている。大変に活気が感じられる。 ・積極的な事業効果創出に向けた取組を進めていることは評価できる。 ・利用者満足度調査においても、各評価項目において高い評価を得ている。
<p>グループ全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各公園の特性に応じた事業展開と着実な成果は高く評価したい。 ・都県境を越えた狭山丘陵広域連携の推進と発展に大きく寄与されており敬意を表する。 ・都県境を超えての狭山丘陵フェア実行委員会によるイベント、情報発信などの中心的役割を果たし、後援団体、協賛団体の増加、イベントの充実などの成果も見られる。 ・次の指定期間も公園の魅力の発信を期待する。 ・コミュニティガーデナー等の養成講座も質の高い内容で実施され、ボランティア活動者の幅も広がっている。デザインセンスの良い、親しみやすい各種印刷物による情報発信については、今後も継続して欲しい。 ・現場のスタッフの創意工夫とボランティア団体の参加意欲が一体となり、活発な活動が生まれている。それにより公園ごとの特色ある取組が進められている。 ・グループ内で共通のイベントを実施することにより、総合的な魅力発信に努めたこと、各種媒体を通じて情報提供に努めたことは評価できる。 ・ホームページ、ブログの更新のほかフェイスブック、メールマガジン、ニュースレター等多彩なツールにより情報発信した。テレビ、ラジオ、新聞等に対しても積極的に情報提供し、公園の魅力向上に努めた。 ・狭山3公園管理運営協議会や「わいわいミーティング」を通じて地元の合意形成を図り、信頼関係を築き、事業協力を得ながら管理運営に努めている。 				

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 多摩丘陵グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
28	長沼公園	八王子市長沼町、下柚木	A	<ul style="list-style-type: none"> ・都の土砂災害調査報告を受け、住民要望に応える形で定期点検、大径木の剪定などを迅速に実施したことは評価できる。 ・猛毒のカエンタケに対して迅速に対応したほか、ボランティアと協働で園内の環境保全に努めたことは評価できる。 ・園内の土砂災害危険指定地区について、傾斜地の樹木管理や側溝の点検清掃により、安全を図った。 ・丘陵地ボランティアとレンジャーの協力による企画「新緑の長沼・平山城址公園を歩こう」では、自治体広報を積極的に活用することで、前年度の2倍を超える申込者を獲得しており、今後の公園の認知度の向上と魅力のアピールにつながるものとして評価できる。
29	平山城址公園	八王子市堀之内	A	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接大学構内が禁煙となったことに伴う園内喫煙問題について、大学と粘り強く調整を行い、構内での喫煙場所の再設置や構内から園内に直結する通用口の閉鎖などの対策を講じ、解決を図った。 ・丘陵地ボランティアとの協働による雑木林管理や、草刈りの工夫によるジュウニヒトエ、キンラン等の野草の増殖の取組により、里山環境の保全が図られている。 ・丘陵地ボランティアとレンジャーの協力による企画「新緑の長沼・平山城址公園を歩こう」では、自治体広報を積極的に活用することで、前年度の2倍を超える申込者を獲得しており、今後の公園の認知度の向上と魅力のアピールにつながるものとして評価できる。 ・本園が持つ歴史性を生かし、散策ルートとして発信している点が評価できる。今後はイベントの更なる充実に期待したい。
30	小山田緑地	町田市下小山田町、上小山田町	A	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な維持管理として美しい竹林を造成したことは、里山を公園として管理する上での方向性を示すものとして高く評価できる。更なる発展を期待したい。 ・「里山まつり」を通じて培った地域とのつながりが契機となり、近隣小学校への出張授業が実現したことは、次期指定管理における協働事業推進にあたってのモデルケースとして評価できる。 ・新企画「親子で楽しむ遊びの紹介・体験」では、里山環境を生かした本園の新たな魅力を発信し、多くの参加者を楽しませた。本園の地形を生かした遊び場として更なる充実に期待したい。 ・里山環境を生かした新たな企画による魅力発信、近隣小学校への出張授業を通じた地域交流、ボランティアと連携した維持管理や生物多様性の保全は評価できる。
31	小山内裏公園	町田市小山ヶ丘二・四丁目、八王子市南大沢四・五丁目、鐘水二丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等との連携による生物多様性保全に向けた積極的な取組がなされており、イチリンソウが前年度よりも約2倍に増殖するなどの成果をあげている。 ・前々年度、前年度と開催した「大里山ミーティング」で培った地域連携や関係機関との連携の中で、積極的に新たなイベントプログラムの開発を行ったことは高く評価できる。 ・四季折々の植物や昆虫等に関する新たなセルフガイドツールの開発と活用は評価できる。 ・地域が一体となった産、学、住、公合同の自主事業「チャレンジ防災」を前年度よりも充実させて開催した。楽しみながら防災について学べる参加型イベントとして、災害時における自助、共助の意識啓発を図っており、参加者数も前年度より3倍以上の増加となった。 ・利用者満足度調査においても、各評価項目において高い評価を得ている。 ・本年度は試行的に都民ボランティアの中から初の里山学芸員を認定し、今後の丘陵地公園の担い手となる人材の確保に取り組んだ。次期指定期間における公園管理、イベント等のより一層の充実に期待できる。

32	桜ヶ丘公園	多摩市連光寺 三・五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・竹林の整備や植生管理、キンランの保全・増殖など園内環境の向上及び生物多様性の保全に積極的に取り組んだ。 ・高木の枯れ枝処理のために、独自の器具を開発したことを評価する。 ・新規イベント「自然観察ガイドウォーク」は、当初予定を大幅に上回り、ほぼ毎月開催した。季節ごとの特色ある草花等にポイントを絞ることで、年間を通じて安定的に参加者を確保した。更なる利用促進につながり評価できる。 ・地元自治体の教育委員会と連携したコンサートを新規に実施し、予定数を大幅に上回る参加者を集めた。 ・環境整備が造成されつつあり好印象を抱いた。里山再生の面では更なる先進的な試みに期待する。 ・多摩地域の人口減少により、里山管理に市民参加を求める工夫がさらに必要となってくる。そのため、地域の学校や家族層にとっての魅力ある「里山体験」プログラムの創出が望まれる。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント等の積極的展開や樹林・竹林の間伐整備等に対して、利用者の目線に立った対応がなされており、評価できる。 ・グループ内のサービスセンターが共同して維持管理作業を実施することで効率化を推進したこと、各園でそれぞれの特色に応じたイベントの新規企画、既存企画の充実に積極的に取り組んだことは評価できる。 ・各種モニタリング調査による生態系の把握も関係機関や大学等の協力を得ながら進んでおり、成果の蓄積が期待できる。 ・キンランの保全で成果をあげるなど、生物多様性に配慮した植物維持管理の取組は評価したい。 ・今年で3回目の開催となった大里山ミーティングにより、多摩丘陵の里山保全に関わる団体間の問題共有を図ることができた。 ・地元団体等と連携し、複雑な地形を生かしたプログラムを企画することで、より一層魅力的な公園となることを望む。 ・企画「秋の長沼・平山城址公園を歩こう」では、本年度からウォーキングガイドブックの活用や、近隣鉄道会社との連携など、内容の充実を試みた点が評価できる。次期指定期間では、参加者数を増やすためにさらなる工夫を期待する。 ・既存の手法や従来からの関係性に依存しない、新たな管理上の取組を期待する。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 武蔵野の公園グループ（指定管理者：西武・武蔵野パートナーズ 指定期間：平成23年4月～平成28年3月） （※ 東伏見公園のみ平成25年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
33	武蔵野中央公園	武蔵野市八幡町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地元高校から年間を通じボランティアを受け入れ、花壇づくりを通じて都民協働に取り組んだ。 ・スポーツ教室、凧揚げ大会など地域のニーズに合った公園の魅力づくりと参加プログラムを工夫するとともに、公園特性を踏まえた企画に取り組み、公園の魅力向上に努めたことは評価できる。 ・地域防災の拠点として地元市と共催の防災フェスタを開催し、行政や地域団体等との連携を深めた点は評価できる。
34	武蔵野公園	小金井市前原町二丁目、中町一丁目、東町五丁目、府中市多磨町二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野公園らしさを生かした公園管理をテーマに公園内で活動する団体と懇談会を開催し、活発な意見交換を行い、公園管理への参加を促したことは今後の運営を進めていく上で高く評価する。 ・自然保護団体と連携して希少種の調査、確認を行っていることは評価できる。 ・「あったらいいな」の声を集め、地元のカフェやアーティストによるグループとの共催で食べ物や手作り雑貨等の出店、ワークショップなど新たなイベントを実施、多くの参加者を集めた点は評価できる。 ・桜並木と自然度の高い周辺雑木林が近接しており、サクラの生育環境に支障が出ることが懸念される。何らかの対策を望みたい。 ・サクラの後継樹育成の取組は緒についたところだが、今後の継続的な取組を望みたい。ニリンソウなど武蔵野の野草の保全に取り組んでいるが、高木の管理方針と整合のとれた計画を作成する必要がある。
35	浅間山公園	府中市浅間町四丁目、若松町五丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査に基づく年間維持管理計画の希少種位置情報を更新、生物多様性に考慮しつつ市民団体と協働でムサシノキスゲをはじめとする希少動植物の保全に努め実績を上げている。 ・3市民団体、地元市、東京農工大学、東京都と進めてきた「浅間山を考える会」を年4回継続開催し、2年間検討してきた「保全管理ガイドライン」を完成させ、地域住民参加のもと公園管理や希少種保全を実現している。 ・市民団体と協働した植生管理の発想は興味深く、公園づくりの方向性の共有化を図った点は高く評価できる。 ・「キスゲフェスティバル」の充実、パンフレットや様々なメディアにより公園の魅力や活動状況を積極的にPRした。これらの取組は高く評価できる。
36	府中の森公園	府中市浅間町一丁目、緑町二丁目、天神町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層やファミリー層の関心と呼ぶタイトルや広報で、楽しく遊び心が伝わる企画づくりを行っていることは高く評価できる。 ・ファミリーを主な対象に、スポーツ教室、各種イベントを積極的に開催し、公園の魅力アピールしたことは評価できる。 ・ツリークライミングをメインにした「森キッズプログラム」を展開する中、管理業務の剪定作業での事故発生は極めて残念なことであり、安全に関する対応の徹底が望まれる。
37	野川公園	調布市野水一・二丁目、小金井市東町一丁目、三鷹市大沢二・三・六丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察センターのリニューアルを行い、武蔵野の自然情報発信拠点としての機能充実を図ったほか、ボランティア等との協働により国分寺崖線の湿地再生に積極的に取り組んだことは評価できる。 ・風景が美しく人気のある公園なので、休日など限定で、少しオシャレなカフェやマルシェなどが出ると良い。 ・利用者満足度が前年実績を上回り、すべてに高水準を獲得する中、基本的な管理状況において不適切な事項が多数発生したことは極めて残念である。原因の究明と対策を望みたい。
38	狭山・境緑道	小平市、東村山市、東大和市、西東京市	A	<ul style="list-style-type: none"> ・緑道内のガーデンパートナー制度の運用を開始し、不法占用対策等を適正に実施していることは評価できる。 ・蓄積したデータを活用して迅速かつ適切な緑道管理を徹底したこと、イベントにより緑道の魅力を発信したことは評価できる。 ・緑道という他の公園と異なる条件の中、チラシをリニューアルするなど広報を充実させて「むさしの元気ウォーキング」の参加者が初の満員となったことは評価できる。

39	玉川上水緑道	福生市、昭島市、立川市、小平市、三鷹市、武蔵野市、杉並区	A	<ul style="list-style-type: none"> ・意見要望が多いぬかるみの対応、暗くなりやすい箇所での樹木剪定を強化するなど、5年間の管理経験を生かし速やかに対策を講じている。 ・地元市、水道局、建設局等の管理主体、地域住民や自然保護団体と協議の上で現場立会を行い、伐採剪定等の対応を進める連携態勢を整えたことは高く評価できる。 ・パークレンジャーによる玉川上水の魅力発信の発展を望む。 ・史跡としての魅力を伝え、それをたどって歩く人の増加を促すしかけや広報の更なる工夫を望む。
40	東村山中央公園	東村山市富士見町五丁目、美住町一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・東樹林コドラート調査地の開放は環境教育や生物多様性の啓発に役立ち評価できる。 ・ボランティア体験イベントの実施、「キッズレンジャープログラム」や「菊花展」などの各種イベントを定着させ公園の魅力を知り、総合学習、職場体験等を積極的に受け入れ地元との連携を深めたことは評価できる。
41	武蔵国分寺公園	国分寺市泉町二丁目、西元町一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・都の池設備改修工事の工程にあわせて池の汚泥を撤去し、池の環境改善を図るとともに、生物多様性の普及啓発に努めた点は評価できる。 ・「あったらいいな」の声を集め、市民グループの企画・運営により4本の魅力的な企画を成功させた。地域イベントが定着し公園と地域の関係性が良好に保たれていることは高く評価できる。 ・利用者の多い子育て世代をターゲットに地域交流を図り、みんなの公園としての意識付けを図ったことは大きな成果として評価できる。 ・むさしの池再生プロジェクトを始動させ、外来種駆除への理解や生物多様性の普及啓発を行った。今後に展開に期待する。 ・様々な取組により公園の魅力向上へ積極的に取り組んでおり、利用者満足度調査においても、各評価項目において高い評価を得ている。
42	東大和南公園	東大和市桜が丘二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・防災をテーマに、楽しく集客性の高いイベントを企画・実施した点は評価できる。 ・地元市と共催の防災イベントは過去最高の参加者を集め、幅広く公園の意義を発信した。地域や関係機関との連携イベントに積極的に取り組んだことを含め評価できる。 ・利用者満足度において前年を下回る項目が多いことが懸念される。
43	六仙公園	東久留米市中央町三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地道な地域への働きかけと園内活動が、利用者増加につながる。更なる努力を希望する。 ・シニアの健康促進イベントに取り組んだことは評価できる。 ・新規に公園パンフレットを作成し、公園のPRに取り組んだ。
44	東伏見公園	西東京市東伏見一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度が全項目で前年を上回りかつ高い水準を見せたことは、施設に頼らずにいろいろな利用形態を提供することの大切さを示している。高く評価したい。 ・ボランティアやスタッフが活躍し、集客性の高いイベントを生み出した点が評価できる。 ・子ども向けスポーツ教室やガイドウォークを開催し、公園の魅力を発信したこと、住民要望の多かった遊具の迅速な供用開始に協力したことは評価できる。 ・新規に公園パンフレットを作成し、公園のPRに取り組んだ。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・地域に溶け込み、地域をリードする公園を目指した1期目の取組は大きな成果を見せていると感じる。 ・全園で行われている「犬のマナーアップキャンペーン」については、利用者の信頼を獲得するところからのアプローチが全国の公園管理のモデルになりうる。 ・英語版パンフレットの作成、パークライフマガジンの継続発行など、デザインセンスの良い、親しみやすい各種印刷物による情報発信については、今後も継続して欲しい。 ・公園の利用ニーズの高いファミリー層などの意見を上手に引き出し、利用者の「あったらいいな」を実現して集客に結びつけている点が評価できる。 ・基本的管理行為において、いくつかの不備が散見されることは残念である。原因究明と職員研修などの対応が望まれる。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 多摩部の公園グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
45	陵南公園	八王子市長房町、東浅川町	A	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度開催のイベントについても、今期の指定期間終了間際まで、主催者との協議を重ね、次期指定管理者の下での適正なイベント開催の実現に向けて努めたことは評価できる。 ・石張り園路の特殊洗浄、サクラ根露出部の安全柵等の設置更新による安全確保、メイン施設である野球場の雨天後の早期の整備や表層改修による快適利用環境の確保など、適切な維持管理がなされた。 ・本園はオリンピックと縁が深いことから、この地域のスポーツの起点として、高齢者、障がい者を中心に、さらに効果的な施策を展開することを期待したい。 ・パークミーティングの参加団体から提案された合同イベントとして、健康づくりプログラム「ユニバーサルスポーツイベント」を実施し、本園周辺施設との一体的利用促進や近隣自治会との連携が図られた点は評価できる。
46	小宮公園	八王子市大谷町、暁町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの参加も得ながら、雑木林の萌芽更新後の林床管理や生育不良エリアへのポット苗移植など、計画的な樹林管理がなされた。 ・公園の植物の種や実を用い、自由な楽しみ方で触れ合う「ネイチャーフィーリング」では、開催内容を工夫した結果、前年度を大きく上回る参加者を集めた。 ・「森の音楽祭」は新たに地元の2大学に呼びかけて、学生グループの参加数を増やすなど、内容の充実と地域連携の拡充を図った点は評価できる。 ・四季の植物を楽しめるイベントや情報発信により、本園の魅力を伝えることができた。 ・雑木林を対象とした地域住民等との密接な関わり合いをより進めていただきたい。里山を中心としたまちづくりの拠点となることが期待される。
47	滝山公園	八王子市高月町、丹木町二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・雑木林ボランティアと協働し、希少植物の保護増殖に取り組むとともに、植物多様性センターと連携し、採集した実の域外保全を行うことで、自生地環境変化等による消失防止に取り組んだ。 ・遺構保存に配慮しながら、修景ポイントの笹刈りや実生木除去を行い、山城跡としての景観づくりに貢献した。 ・地元自治体や町会、ボランティア等の協力を得て、広域的な観点から山城の史跡的価値の再確認とPR等につなげる講演会・パネル展を実現したことは、史跡の重要性を社会的に認知させていく取組として評価できる。 ・新規事業として公園の植物の種や実を用い、自由な楽しみ方で触れ合う「ネイチャーフィーリング」を実施し、予定の2倍を超える参加者を集めた。 ・関東地方の所縁ある城郭との連携を推進することにより、本園の更なる魅力発信を望む。 ・雑木林を対象とした地域住民等との密接な関わり合いをより進めていただきたい。里山を中心としたまちづくりの拠点となることが期待される。
48	大戸緑地	町田市相原町	A	<ul style="list-style-type: none"> ・段木入広場上部では、豪雨による水量の増加によって流れ込む堆積土砂の除去や、池護岸の洗掘部分への土嚢設置等により応急処置を行い、被害拡大を防いだ。 ・GPS機能付きカメラによる生物情報等の収集・活用は、維持管理を行う上で効果的な措置である。 ・ボランティアとの協働による新規事業「藍の生葉染め体験」や、近隣の青少年センターとの連携による宿泊型体験プログラムなどは、今後に向けて本園の特色をアピールしていく取組として評価できる。 ・本年度会議の場で提案された維持管理やイベント実施に関する取組が、今後更に充実・発展することを期待する。

49	秋留台公園	あきる野市二宮、平沢	S	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア毎の方針に従った計画的な手入れを継続することで、安全と景観に配慮した環境整備ができています。 ・指定期間を通じて本園の方向性が明確となり、評価も定着しつつある。今後もこの方向性に基づき、適切な管理に取り組むことを望む。 ・本園の特徴である第三種陸上競技場を生かしたスポーツイベントは、近隣地域に留まらない魅力を創出しており、評価できる。 ・春秋開催の「ローズフェスタ」では、秋の開催期間を拡充するとともに、前年度までの利用者の声を反映して、バラの品種名札や休憩所等の増設、案内パンフレットの新規作成など様々な取組を実施した結果、来園者数が過去最大となった。 ・「ユニバーサルスポーツ祭」は近隣自治体にも働きかけ大幅な参加者増、開催規模、内容の充実を実現した。そのほかのイベントについても回数増や内容の充実に積極的に取り組み、公園の魅力の発信に大きく寄与していることは高く評価できる。 ・利用者満足度調査においても、各評価項目とも高水準となっており、高く評価したい。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・多摩部5公園を周遊するイベント（昆虫観察、歴史、バスツアー）の開催、パークミーティングからエリアミーティングへの拡大による連携・協働の広がりなど、多摩部の公園及び地域の資源を掘り起こすことができました。今後は地域のポテンシャルを活用した更なる取組を期待する。 ・安心安全の視点に立った維持管理を進めていることは評価できる。 ・初の試みである「多摩部5公園周遊バスツアー」は非常に興味を惹く取組として評価する。 ・費用対効果の高いイベントを、都民参加でつくりあげ、楽しい企画をより多くの都民に提供できるような取組を期待したい。 ・指定期間を通じて、方向性が明確となった公園がある一方で、発展段階にとどまる公園もある。今後は更なる魅力の向上に期待する。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 大神山公園 （指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
50	大神山公園	小笠原村父島	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来種の駆除、固有種の植栽、樹名板の設置等見本園としての機能向上に努めた。 ・ 例年以上に多発した台風に対し適切に対応したこと、公園内でのアオウミガメの保護活動の解説や都心での講演会開催、公園のPR映像の制作など、公園の魅力発信に積極的に取り組んだことは、評価できる。 ・ 地元企業との協調を深め、地元のニーズやアイデアを取り込むとともに、外部委託部分の安全管理を重視して、より良い管理を進めていくことを望む。 ・ PR用の広報DVDの活用に効果が表れている。今後は来島者への事前情報として活用できると更に効果的である。 ・ 本園のホームページについて、一般の公園と同じ形式ではなく、魅力的な写真とともに、小笠原の自然環境とそこにおける本園の位置づけがわかるような工夫を求める。 ・ 小笠原観光の窓口であるとの自覚をもち、来園者対応により一層励むことを期待する。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 夢の島公園・夢の島熱帯植物館（指定管理者：アメニス夢の島グループ 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
51	夢の島公園	江東区夢の島一・二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・林内整備により、良好な樹林地を提供できていることは評価できる。 ・園内作業で発生した剪定枝や刈り草は堆肥化して活用している。 ・植物館と一体となった植栽管理を実現している点が評価できる。 ・近隣からのアクセスの悪い中、出張授業などを取り入れた地道なPR活動が効果を上げつつあり、評価できる。 ・大規模なランニングイベントの誘致など公園の魅力向上と利用促進に努めていることは評価できる。 ・被災地の学校に花を贈る「夢の折鶴プロジェクト」を展開。館長が直接被災地の学校を訪問し、折鶴に託した花の種を手渡すことで、被災地のこどもたちに夢を運ぶとともに、夢の島のPRにもつながる取組となった。 ・出張授業やイベント参加の依頼について、以前に関係した学校等から出張授業の再依頼を受けることが増えている。このことから、日頃から近隣住民の信頼を集めており、教育機関との良好な関係を築けていると考えられる。
52	夢の島熱帯植物館	江東区夢の島二丁目一番	A	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や外気温、天候、利用状況（イベント等を含む）を鑑み、各熱源ポンプや給水ポンプ等の発停をきめ細やかに行い、省エネを図った。 ・植栽管理業務マニュアル等の改訂を実施した。 ・制約条件下で、長い間管理を続けていることは評価できる。 ・夏の夜間開園、ハロウィンのイベント、企画展など、年間を通して多くの企画展・イベントを実施、各種媒体による広報を継続し、指定管理開始以来最高の入館者を得たことは評価できる。 ・被災地の学校に花を贈る「夢の折鶴プロジェクト」を展開。館長が直接被災地の学校を訪問し、折鶴に託した花の種を手渡すことで、被災地のこどもたちに夢を運ぶとともに、夢の島のPRにもつながる取組となった。 ・出張授業やイベント参加の依頼について、以前に関係した学校等から出張授業の再依頼を受けることが増えている。このことから、日頃から近隣住民の信頼を集めており、教育機関との良好な関係を築けていると考えられる。教育機関との良好な関係の維持を望む。 ・展示ディスプレイなどのデザイン性の向上により、植物館の魅力をより一層向上させることを望む。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・地道な改良、工夫により固定入場者を確保しており、大いに評価したい。 ・東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた改築の中で厳しい管理運営が考えられるが、公園環境の保全、公園利用者の快適性の確保に、これまでの経験を生かしていくことを望む。 ・ボイラー設備のきめ細かい制御による省エネ、剪定枝等の堆肥化など地道な努力を行っていることはグループ全体の姿勢として評価できる。 ・有料施設である植物館と公園の連携が窺え、効果が上がっていることは評価できる。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○日比谷公会堂・日比谷公園大音楽堂（指定管理者：大星ビル管理・共立・日比谷アメニス共同事業体
 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
53	日比谷公会堂	千代田区日比谷公園一丁目三番	A	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に日比谷公会堂が指定管理から直営管理に移行することを受け、通常の引継ぎ資料のほかに入館マニュアル等を作成し、都に提供した。 施設の老朽化による経年劣化が生じる中、利用者への対応や施設点検・整備などのソフト・ハードの両面から迅速な対策を講じることで、適切な施設運営を実現した。 自主事業で毎年恒例となった警視庁・東京消防庁音楽隊の無料コンサートや公会堂ファイナルイベント（無料コンサート）は募集の5倍以上の応募者を集め、満足度の高いイベントを行い施設の魅力を伝えることができた。 休館を前に施設に対する注目度が高まる中、多くの取材に適切に対応し、自主事業等により文化・歴史的価値のある施設であることを積極的に広報したことで施設の認知度を上げた。 休館に向けた様々なイベントなどによく取り組まれたと感じる。 老朽化した文化的・歴史的施設の再評価と利用の活性化に向けた取組の好事例を示しており、積極的な広報対応も含め、高く評価したい。
54	日比谷公園大音楽堂	千代田区日比谷公園一丁目五番	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化による経年劣化等に対して、観覧席ベンチ及び電灯・動力分電盤の設備状況のリスト化により日常管理等に生かし、適切な施設運営を実現した。 機器の更新、観覧席の補修に加え、場内の支障・危険樹木伐採、剪定を積極的に行い利用環境を整えたことは評価できる。 施設の老朽化に対する適切な対応、屋外施設という条件における適切な施設運営は評価できる。 屋外施設として利用条件に制限のある中で、適切な施設運営を行い、年間利用率は指定期間の平均を上回る41.5%であった。 施設の老朽化はあると思うが、「日比谷野音」というブランド力を生かし、積極的に特色ある企画を誘致する努力を期待したい。日比谷公会堂に負けない「聖地」性があると感じる。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した文化、歴史的施設の管理運営にかける熱意と取組に敬意を表する。このノウハウを是非都市部の公園群にも生かしていくことを期待する。 多くのリスクを抱えつつ、問題なく当該指定期間を終了できたことは評価できる。 28年度の管理体制の変更に向けて、適切に対応したことは評価できる。 両施設とも老朽化が顕著な施設であるが日常の維持管理等による管理運営を行いながら自主事業にも取り組んでいることは評価できる。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 青山葬儀所（指定管理者：日比谷花壇グループ 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
55	青山葬儀所	港区南青山二丁目三十三番二十号	A	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートメーターにより電気使用量をリアルタイムで確認し、きめ細やかな空調管理を行った。この結果、年間電気料金を大幅に縮減した。 ・ウッドデッキの横に喫煙所を設置したことで、煙草のポイ捨てが激減しており、評価できる。 ・遺族や弔問者が発災時に待機難民となることを想定し、飲料水、臨時用トイレ消耗品、救急医薬品等を配膳準備室に備蓄した。 ・利用様式が大きく変化する中、ホームページの改良や友引の日のシンポジウム開催による普及啓発に取り組んだほか、葬儀社へのアンケート及び訪問ヒアリングに基づく対策を実施し、利用件数増加を実現したことは評価できる。 ・お客様のニーズの変化などに対応した、きめ細かいさまざまな工夫が見られる。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 防災公園グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月） （※ 駒沢オリンピック公園のみ平成26年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
56	木場公園	江東区木場四・五丁目・平野四丁目・三好四丁目・東陽六丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> 公園内の植物について情報発信をしていくため、本年度は帰化植物についての講演会や観察会を開催するとともに、見本園外において季節ごとに帰化植物の展示会を開催し、「ミニ帰化植物図鑑」を発行するなど、広くその魅力を発信した。 立地の特性に着眼した帰化植物の魅力アピールは高く評価できる。 ボランティアと一緒に展開する「花いっぱいプロジェクト」として、噴水前花壇や近隣美術館前の花の植え替えを行い、景観の再生を目指したプロジェクトは高く評価できる。 地元区や関係機関と連携して子どもや親子向けの防災イベントを実施したこと、東京都・立川市合同総合防災訓練のサブ会場として全面的に協力したこと、園内の帰化植物の魅力をPRするため様々な取組を行ったことなど、防災公園としてまた都市公園として積極的な役割を果たしていることは高く評価できる。 本園の魅力をPRし、地域の方々と協働したイベントの開催に加え、防災公園として近隣自治体の協力も得て、防災訓練を実施したことは評価できる。
57	善福寺川緑地	杉並区成田東二・三・四丁目、成田西一・三・四丁目、荻窪一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の協力体制や防災無線の設置、地域防災訓練の実施などを定めた防災協定を地元自治体と締結し、協力体制を構築した。 桜花期の間、地元警察署などと連携して隣接道路にバリケードを設置し、不法屋台の出店を阻止したことは評価できる。 ボランティアと連携して自然観察会を開催し、園内を散策しながら参加者にきめ細やかな説明を行うなど、前年度より内容を充実させたことは評価できる。 「歴史散策マップ」を改定・追記し、そのマップを用いたガイドツアーを実施することで、公園とその周辺の魅力を利用者に積極的に伝えている。 歴史ある地域なので、今後は本園の歴史案内ができるボランティアの育成に期待したい。
58	代々木公園	渋谷区代々木神園町、神南二丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> 地元区や消防署、近隣企業や町会など地域と連携した帰宅困難者対応訓練など、災害時を想定した訓練を実施したことは高く評価できる。 ホームレスに対して、福祉施設への入居支援等を粘り強く行い、自立を促した結果、テントを7張撤去するなど、公園の適正利用に向けた着実な取組を進めた。 成長抑制、排水柵の改良など、蚊の成長段階にあわせた対策を行ったことで、デング熱対策に成果をあげたことは評価できる。 公園の立地からもホームレス対策や防災対策は特に重要な公園管理の一つであり、積極的な対応を進めていることは高く評価できる。 外国人向けの雪吊り解説も加えた「ジャパンガーデニングフェア」、近隣施設との連携による子ども向けイベントやボランティアとの連携による「あそび万博（前年度比約4,000人増）」などを開催し、公園の魅力を向上させた。 外国人来園者のために、英文チラシの作成・配布、技術職員の解説に対する英語通訳などを行ったことは評価できる。 「キッズフェスタ」では、消火器体験などのほか、防災施設のPRなど本園の役割を来園者に伝えた。 「防災ライフフェスタ2015」では、防災拠点としての本園の役割について普及啓発を図った。本年度から近隣鉄道施設におけるチラシの掲載、ラジオを通じた呼びかけなど積極的な広報活動を行った結果、多くの参加者を得ており、評価できる。
59	和田堀公園	杉並区大宮一・二丁目、成田東一・二丁目、成田西一丁目、堀ノ内一・二丁目、松ノ木一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史散策マップ」を改定・追記し、そのマップを用いたガイドツアーを実施することで、公園とその周辺の魅力を利用者に積極的に伝えている。 地元区と防災協力協定を締結し協力体制を構築したことや、「親子防災DAYキャンプ」の実施による防災意識の喚起、知識の普及啓発に加え、子ども向けイベントや自然観察会の実施等により公園の魅力発信に努めたことは、評価できる。 都心部に近い広大な緑地であることから、観光やイベントに関するニーズが高い。東京の魅力発信及び文化育成になるような都民協働の企画にも今後はより一層取り組んでいただきたい。

60	城北中央公園	板橋区桜川一丁目、小茂根五丁目、練馬区氷川台一丁目、羽沢三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用上の注意については、巡回中の声掛けや手作りのチラシ配布など、直接対話を大切に取組を行っている。 ・「花火のやり方講習会」は近隣小学校との連携を高めた点が評価できる。 ・地元自治体や関係機関と連携して地域連携防災訓練を実施したこと、地域連携訓練の連携先拡大に積極的に努めたこと、古代遺跡を資源として活用する取組やスポーツイベントの充実にも努めたことは評価できる。 ・公園地にある遺跡にちなみ、ガイドツアーや勾玉作り体験等、小規模であっても地元密着度の高いイベントを開催している。 ・地域連携事業について、今後は今まで参加していなかった世代も楽しく関わることができるようなしかけの工夫が望まれる。
61	光が丘公園	練馬区光が丘二・四丁目、旭町二丁目、板橋区赤塚新町三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公園のシンボルであるイチョウ並木を適切に管理することにより、明るく見通しの良い景観を作出したことは評価できる。 ・近隣の関係機関や看護学校と連携して防災訓練を実施し共助関係を構築したことに加え、自然観察会等のイベントを実施し、公園の魅力を発信したことは評価できる。 ・ボランティア、NPOとの協働による自然観察会や「どんぐりイベント」の開催回数や参加者を増やし、公園の自然を伝えた。また、地域の学校や警察署の参加を得ての高木の下枝落としは、地域と連携した安全な公園づくりにつながっている。
62	舎人公園	足立区舎人公園、西伊興町、舎人町、入谷町、古千谷一・二丁目、皿沼三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・画鋸入りドッグフードが園内にばら撒かれるという悪質ないたずらに対し、早朝や夜間の巡回、ポスターやチラシによる来園者への周知など迅速な対応を行い、事故の発生を防いだことは評価できる。 ・「防災フェスタ」では、本年度からスタンプラリーを導入し、利用者が多くの展示ブースや訓練メニューに参加するよう工夫した。その結果、前年度の5倍もの参加者を得たことは高く評価できる。 ・地元区との防災協力協定の締結や自衛隊統合防災演習・現地機動班習熟訓練への参加、防災フェスタの拡充による防災意識の喚起、知識の普及啓発推進に加え、公園の魅力を発信する様々なイベントを実施したことは評価できる。 ・地域ボランティアとの協働により、ヨシやガマの除去、菖蒲田水路の浚渫、スイレン復活のための根茎の植付けなど、美しい水景の向上を図った。
63	水元公園	葛飾区水元公園・東金町五・八丁目、埼玉県三郷市	A	<ul style="list-style-type: none"> ・水位調整によるオニバスの保全、土壌ろ過による水質改善、土壌シードバンクを活用した湿生植物ミズネコノオの復活など、公園の自然資源の保全に努めている。 ・水元公園の魅力の一つである花菖蒲をPRするため、「菖蒲祭り」にあわせて職員による花菖蒲ガイドツアーや浮世絵展を実施した。浮世絵展では、展示場所を変更するなど工夫を行い、来園者は前年比2.5倍となった。 ・水元公園50周年を祝う記念イベントでは、地元の商店街に新店を誘致するとともに、防災ブースを設営し、防災施設パネルの展示やクイズを実施した結果、当日は、約3.3万人の来園者を得ており、評価できる。 ・今後は公園の特色を生かし、都民協働による自然観察や環境保全につながる魅力的な体験型プログラムを期待する。
64	篠崎公園	江戸川区上篠崎一・四丁目、篠崎町五・六・七・八丁目、西篠崎一・二丁目、谷河内二丁目、南篠崎町四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設リニューアル、遊具点検・補修などに加えて地域の協力によるクリーンアップイベントを実施したことは評価できる。 ・国際交流イベント「篠崎フェスティバル2015」を初めて開催し、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた国際交流の先駆けとなったことは高く評価できる。 ・「防災救急フェスタ」を初めて開催し防災意識の喚起、知識の普及啓発を図ったほか、地域と連携した国際交流イベントを開催するなど公園の魅力発信に努めたことは、評価できる。

65	葛西臨海公園	江戸川区臨海町六丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公園入口近くの1号トイレの内装及び照明を補修し、明るく清潔な印象となるよう施設改善に取り組んだ。ベンチ、ゴミ箱の美化とあわせて、公園の快適性の向上に寄与しており評価したい。 ・一年を通して来園者に話題を提供するイベントは興味深く、自主事業の開催にあたり積極的な広報を展開するなどの取組は高く評価できる。 ・「花壇魅力アッププロジェクト」として各種ボランティアグループの協力のもと、大規模な花景観を創出していることは高く評価できる。 ・ロケーションのすばらしさを生かしたイベントを開催することにより、来場者を増やしている点が評価できる。海辺の公園の風景などをホームページやSNSを通じて発信する方法を検討すると、本園の魅力がより伝わると考えられる。
66	駒沢オリンピック公園	世田谷区駒沢公園、目黒区東が丘二丁目、八雲五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームレスの自立支援とテント撤去に成果を上げたことは評価できる。 ・新たに野鳥ボランティアを立ち上げ、バードサンクチュアリの手入れに着手した。 ・体育施設管理者や地域と連携して防災訓練やイベントを実施し協力体制を強化したこと、防災デイキャンプの実施により防災意識の喚起、知識の普及啓発を図ったことに加え、オリンピックの機運を高めるスポーツイベントをはじめ各種イベントの実施により公園の魅力発信したことは、評価できる。 ・今後は、都民と協働で魅力的な企画をさらに検討することにより、コミュニティの育成、及び防災力の育成につなげていくことを期待する。 ・草刈作業や剪定作業の中で事故が発生しているため、再発防止の徹底を望む。
67	武蔵野の森公園	府中市朝日町三丁目、調布市西町、三鷹市大沢五・六丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児向け室内スペースである「のびのび親子館」を清潔かつ安全安心な施設として維持管理し、利用者の自己責任、免責事項の周知等適正な管理に努めている。 ・近隣自治体、消防、警察、自衛隊など多くの団体の協力により「防災フェスタ」を実施した。初の近隣3自治体からの出展も行われた結果、参加者が前年の約1.7倍となり、利用者の防災意識の向上に寄与した。 ・近隣特別支援学校との防災訓練を初めて実施したことは高く評価できる。 ・積極的に地域と連携して防災プログラムを展開している。子育て支援の取組も評価できる。 ・戦後70年にちなみ、掩体壕の歴史を伝えるリーフレットの改定・配布、近隣町会や学校へのガイドの実施により園内の戦争遺跡の紹介を行った。
68	小金井公園	小金井市桜町三丁目、関野町一・二丁目、小平市花小金井南町三丁目、西東京市向台六丁目、武蔵野市桜堤三丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内を7地区に分けて、間伐や支障枝処理等大規模な樹木管理作業を実施した。職員160名の参加による作業により、明るく見透しのきく景観をつくり出した。 ・利用者満足度が高水準である。 ・地元自治体の総合防災訓練実施にあわせて防災体験会を初めて開催した。防災ショールームや体験プログラムを実施し、防災公園の役割への理解や防災意識の醸成を図った。 ・子育て支援活動の推進を目指す「子どもワンプク体験」の参加者が前年度の約2倍になったことは評価できる。 ・共同作業による園内環境や景観改善に加え計画的な公園施設リニューアルが成果を上げていることを評価したい。 ・ファミリー層が多く、市民活動も活発な地域なので、さらなる地域団体との連携による取組を期待したい。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・本社と各公園が密接に連携し、多種多様な訓練の実施などを通じて、発災時における協力体制や迅速な対応の強化を図っていることは、評価できる。 ・それぞれの防災公園の役割分担を明確にするなど震災マニュアルの改訂をもって示し、発災時対応の均一化を図っていること、また防災公園近隣の自治体の協力も取り付けるなど積極的な対応を図ったことは高く評価できる。 ・防災協定などにより地元自治体などとの協力関係が増した。この関係性を更なる公園活性化のために有効に生かし、地域を代表する公園を創る力にすることを望む。 ・住宅密集地にある大規模な公園が多く、様々なニーズが考えられる。今後は市民団体などにより一層の連携を図ることで、少ない予算で魅力的な企画を生み出せるよう期待する。 ・平成28年熊本地震を教訓として、新たな防災の方向性も模索されている。地元との防災協定も自治体だけでなく、企業を巻き込む動きも生じている中で、様々な新しい対応策を考慮することを望む。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 文化財庭園グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
69	浜離宮恩賜庭園	中央区浜離宮庭園	S	<ul style="list-style-type: none"> ・松の御茶屋について、日常管理での点検時にシロアリ被害が及ぶ危険性を発見し、早急に適切な措置をすることにより、建物への直接被害を未然に防止した。 ・中の御門周辺において、トウネズミモチやシュロを除去し、庭園の景観を保持する取組は、文化財庭園における植物管理の在り方を示すもので大いに評価したい。また、芝生を養生するためにカラーコーンに替わる木製の置き型の柵を考案するなど工夫を凝らしている点も評価したい。 ・SNSを活用するなど積極的な広報による庭園の利用促進に努めた結果、過去最高の来園者数約73.8万人となった。 ・多言語パンフレット、英語ガイド等多様な取組により、外国人利用率も過去最高値となった。ますます高まるインバウンド観光への対応方針がしっかりと組み立てられている。東京の顔となる観光地としてこの取組は高く評価できる。 ・ライトアップ事業による夜間開園への対応や外国人の視察対応などで東京都に協力し、文化財庭園の普及啓発に寄与した。 ・正月開園に伴い放鷹術実演や松の御茶屋特別ガイド等を実施することで、日本の伝統文化を広めることに成功している。江戸における伝統文化の発信源としての地位を確立することを望む。
70	旧芝離宮恩賜庭園	港区海岸一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸補修にあたっては「庭園工作物標準図集」に基づいた在来工法による積み直しを行い景観修復に努めた。庭園における魅力の更なる増進が期待される。 ・大泉水池畔の株物は、切戻しや枝透かしの技法により高さを抑え、また間引きにより植栽密度を調整、急激な景観変化を避けながら、広がりある大泉水の景観へと改善した。 ・積極的な広報活動に加え周辺企業への働きかけにより、利用者の大幅な増加につながったことは評価できる。 ・四季折々のイベントを企画・実施し、話題づくりの努力をしている。また、地元地域や近隣企業との連携の姿勢も評価できる。 ・立地にあったイベントの更なる企画・立案を希望する。
71	小石川後楽園	文京区後楽一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・大泉水周辺の主要景観群が一体となるよう、蓬莱島の植栽管理を実施した。熟練職員により、数種の透かしの技法を用いた剪定のほか実生木処理や笹刈り等の林床管理の実施により、蓬莱島と周辺景観を調和させた。 ・花菖蒲を多くの来園者に親しんでもらうためのガイドツアーを行った。また、作業を行う際に菅笠・モンペを着用、衣装の貸出しを含む記念写真コーナーの設置等、江戸時代から続く名園の風情を楽しんでもらう取組を行っており、利用者目線に立った対応として高く評価できる。 ・庭園としての風景へのこだわりが形となって現れている。そのこだわりを支える伝統技術を体験プログラムに活用するなど、伝統文化の拠点となる取組も実施した点が評価できる。 ・利用者満足度調査においても、各評価項目において高い評価を得ている。
72	六義園	文京区本駒込六丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップの際は、通常閉鎖中の染井門を臨時開門するなど、多数の来園者への安全対策及び混乱混雑解消のための対策を行い、開催期間中の運営を適切に行ったことは高く評価できる。 ・積極的な広報活動に加え、しだれ桜や紅葉の見ごろに応じたライトアップ、空撮映像投影等により過去最高の約82万人の来園者があったことは高く評価する。 ・子どもを対象としたものから大人や外国人を対象としたものまで、多種多様なイベントの実施、特別ガイドや体験講座など専門性の高い情報発信などにより、積極的な広報活動や利用促進策と相まって、文化財庭園の魅力が大いに発信した。 ・園内各所における景観維持、修復を含め、観光及び文化施設として、しっかりと維持管理を行っている。また、四季折々の庭園の魅力が上手にPRされており、高く評価したい。 ・利用者満足度調査においても、各評価項目において高い評価を得ている。

73	旧岩崎邸庭園	台東区池之端一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の本園についての造詣が深く、ガイドツアーや講演などを通じ、多くの来園者に本園や文化財の価値についての知識を普及することに大きく貢献している。 ・洋館や芝庭を舞台にしたミニコンサートや、協力団体による館内の生花展示等、本園らしい質の高いイベントを開催した。本園の文化財としての価値を高め、多くの来園者を集めることに成功している。 ・地下通路を含んだ撞球室特別ガイド、近隣文化財資源と連携した体験ツアーなどに加え、関連施設や地域との連携による多彩な文化的イベントなどを行ったことは高く評価できる。 ・平成27年3月の上野東京ライン開業に伴い、東海道線横浜方面からの集客アップを目指して、駅構内にイベントポスターを掲示するなど、広報活動に積極的に取り組んだ。 ・岩崎久彌生誕150年を記念した関係機関との連携によるイベントや、近隣文化資源と連携した文化体験ツアー、子ども向けイベント等の実施、地域との連携によるコンサート開催の拡充は、施設内の景観向上や快適性向上の取組とあわせ、高く評価できる。 ・本園の文化財としての存在意義や重要性について、後世に引き継がれることが期待される。
74	向島百花園	墨田区東向島三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸杭補修工事にあわせて、水質改善を図る汚泥除去を行ったが、その際止水調整等を小まめに対応したことにより汚泥約36tを処理し、池泉景観の改善に寄与したことは評価できる。 ・楽焼体験や和装ガイドなど庭園文化の魅力を伝えるイベントの実施に積極的に取り組んだことは、梅林再生や池泉景観の改善に努めたこととあわせ、評価できる。 ・江戸における風鈴売りの風情を復活させるなど、新しいイベントを企画することを望む。
75	清澄庭園	江東区清澄二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・主要景観の富士山における作庭意図に従った株物の管理により、雲の景観を作出したことは高く評価できる。 ・「涼亭」の利用者マナー改善に向け、粘り強く利用指導を行った。 ・視覚障害者を対象とした特別イベントや近隣施設と連携したイベントを実施するとともに、マスメディアへの働きかけにより、文化財庭園の魅力を様々な形で発信した。 ・日本文化の体験、江戸の文化発掘など、地域性や歴史性を生かした取組が評価できる。 ・積極的な広報と公園の維持管理に工夫をすることで前年比約146%の入園者数があったことは評価できる。
76	旧古河庭園	北区西ヶ原一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・洋館との対比を意識した整形花壇の管理を行った。バラを縁取る生垣は、エッジの効いた仕上がりとなるよう、熟練職員が手間をかけ刈りこみ、景観を整備した。 ・春秋の「バラフェスティバル」期間中の様々なイベント実施は、関係機関との連携や各種メディアを用いた積極的な広報活動とともに文化財庭園の魅力を大いに発信した。専門性の高いイベントの実施、きめ細やかな維持管理とあわせ、高く評価できる。 ・質の高い、魅力的な庭園情報を提供する「センター長と歩こう」や「親方と歩こう」は伝統技能の解説として高く評価される。 ・「子どもガイドブック」の使用と併せて行われた「子ども庭師体験」は有意義なイベントとして評価できる。 ・ホームページ等の情報発信、六義園との「園結び」の案内、最寄駅の協力による駅掲示板でのイベント告知や近隣施設へのチラシ配布など、積極的な広報活動、庭園の利用促進に努めた結果、来園者数が約28万人へと増加した。

77	殿ヶ谷戸 庭園	国分寺市南町二 丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・保存管理計画に基づき、景観の維持、向上、改善を図るための施設補修やハケの修景向上に取り組んだことは高く評価できる。 ・手入れの行き届いた根締め植栽により、岩組みや滝石の存在感を際立たせた。また、鹿おどしを更新する際の清掃、次郎弁天池の下草や汚泥の除去、流れの漏水補修等により、水景観の向上を図った。 ・竹手摺の更新に際しては、肉厚で強度を保ちつつ握りやすい径のものとし、安全性を維持しながら景観と調和させることに成功している。 ・窓口で荷物預りや園内注意箇所の説明など、きめ細やかなサービスを実施した。 ・他施設と連携して岩崎彦彌太生誕120年を記念するイベントを実施し庭園の文化的側面を強くアピールしたこと、カルタを用いた文化財の普及啓発や学校向け学習プログラムの提案を行ったことは、庭園各所における景観維持、向上努力とあわせて、高く評価できる。 ・本年度の入園者数は過去最高となった。唯一多摩部にある庭園であることから集客努力が感じられ、地元自治体との連携をはじめ近隣施設等への積極的な情報提供により来園者アップにつなげたことは高く評価できる。 ・近隣学校に働きかけ、利用拡大を図ることで、地域の歴史文化施設として根づかせようとする努力が見られる。 ・センター長や技能職員によるガイド「庭さんぽ」では、職員の視点から鑑賞方法を提案する等、質の高い情報解説を行った。技能職員による伝統技能見学会を実施し、伝統技能継承の重要性に理解を深めた。 ・各旅行社へPRを行い、ツアー客誘致につなげた。また、イベント開催時の広報や、年間パスポート利用案内には英語を併記し、利用者層拡大に努めている。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・今期、都立公園の管理運営において最も飛躍的な成果をあげられたグループは「文化財庭園」グループであると確信する。今後も2020年を契機として、文化財庭園のあるべき姿を追求していくことを望む。 ・庭園管理に係る深い知識と高い技術を本社と各庭園で共有し、景観の維持、向上を図るとともに、次世代への継承に努めている。景観の向上と積極的なイベントの実施や広報努力により文化財庭園の魅力発信が相まって、外国人を含む来園者の増加をもたらしている。引き続き努力を続けていくことを期待する。 ・来園者の庭園に対する期待は非常に高い中で、利用者満足度も高水準であり、外国人来園者への対応も進められており、高く評価できる。 ・各庭園の美しい写真をフェイスブックやインスタグラムなどで更に発信していくことを望む。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 神代植物公園（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
78	神代植物公園	調布市深大寺元町二・五丁目、深大寺北町一・二丁目、深大寺南町四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・大温室の休館中にもかかわらず、シヨクダイオオコンニャクの開花などに努力し、ほぼ前年並みの入場者を確保したことは高く評価できる。 ・大温室の改修工事に当たり、植物管理の視点からキャットウォークの設置を提案するなど、管理者としての職責を果たしている。 ・独自の通信訓練のほか、東京都と連携した参集訓練や、地元自治会との防災訓練にも積極的に取り組んだ。 ・バラの香りを取り上げたイベントを開催するなど、世の中の流行に対応した企画に取り組む姿勢は評価できる。 ・様々なイベントや展示会の開催、積極的な広報対応や広報活動の実施などに加え、江戸園芸植物の展示・普及啓発、チリ植物コレクションの拡充、大温室改修に対する技術協力など技術面での貢献も評価できる。 ・本年度は大温室の休館による影響があったが、次期指定期間では開館した大温室をはじめ本園の魅力発信に期待する。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 潮風公園・台場公園（指定管理者：東京臨海副都心グループ 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
79	潮風公園	品川区東八潮	A	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの会場となることを受け、大会後のイベント占有に関するルールについての方針、効果、問題点の洗い出しを行ったことは評価できる。 ・イベント占有について、1か月内における同一団体による利用回数制限等の指導を行うことで、一般利用者の利用増を図ったことは評価できる。 ・環境美化活動について、多数の団体が参加。毎回同時期に参加するリピーター団体もあり、親しみやすい公園づくりとより良い環境整備に役立つ取組になっている。 ・お台場海浜公園と一体的に各種イベントを実施したことは評価できる。
80	台場公園	港区台場一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な巡回により柵の不具合を早期に発見、適切に柵の破損修理を行い、安全性に配慮した施設管理を行っている。 ・12月から2月にかけて公園内のマツに雪吊りを設置し、日本の伝統文化の発信と景観の向上を図った。 ・隣接のお台場海浜公園と連携した誘客策により、来園者の増加を実現したことは評価できる。 ・史跡パネル展や史跡めぐりのイベントを実施し、公園の魅力を発信したことは評価できる。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・お台場海浜公園との連携により、ランニングイベント等の成果が上がっていることは高く評価できる。 ・お台場海浜公園と一体的に管理、自主事業の運営等を行えることは最大のメリットと言える。 ・お台場海浜公園と連携するイベントは開催することで来園者の反応が大きくなるという場所的な優位性もあることから、積極的な運営による一歩進んだ公園管理を望む。 ・東京都における「水辺空間活用」の動きにあわせて、空間の魅力をより一層増進されたい。 ・人気のエリアということで、公園が持つ歴史や特性を魅力的な広報及びソフト企画等によって利用者に伝えることで、集客増を期待したい。 ・アンケートにおける総合満足度の高評価を維持されることを望む。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 横網町公園（指定管理者：公益財団法人東京都慰霊協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
81	横網町公園	墨田区横網二丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・慰霊堂耐震補強工事の期間中、関係機関と緊密に連携を取り、参拝者への影響を最小限に抑えることができた。 ・夜間点検の回数を増やし、公園利用の適正化を図った。 ・戦後70年にあたっての行幸啓をはじめとする各種イベントを無事終了したことは、メモリアルパークとしての社会的価値の向上に大きく貢献したものであり大いに評価できる。 ・復興記念館の団体見学者に対する解説業務として、156団体の受入を行い、復興記念館の来場者数は前年度より3割程度増加した。 ・大震災に備える体験学習ツアーを実施した。東京臨海広域防災公園と連携して防災に関する体験学習を行い、参加者の防災意識の醸成につながった。 ・「天皇皇后両陛下行幸啓」をはじめとする様々な戦後70年協働事業に携わったこと、大震災に備える体験ツアーの実施や復興記念館の来場者の大幅増に至った取組は評価できる。 ・利用目的が一定程度特定される施設等の利活用は難しいところがあるものの、特性を生かしたイベント等の開催は評価できる。 ・公園の特色を生かした各種イベントの継続的な実施を希望する。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 東京臨海広域防災公園（指定管理者：西武造園㈱・㈱NHKアート共同体 指定期間：平成25年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
82	東京臨海広域防災公園	江東区有明三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場の猛暑時にトイレにミストシャワーを設置し涼を演出し、熱中症など事故の未然防止にも効果的であった。 ・園内花壇の造成等を着実に進めていることは評価できる。 ・「BOUSAIモーターショー」の参加車両も増え、主要イベントとして定着しているほか、民間団体等と連携して防災技術の啓発や防災意識の向上に資するイベントに積極的に取り組んだ。防災公園の知名度アップにつながっていることは大いに評価できる。 ・広大な敷地を生かしたイベントを積極的に誘致している点は評価できる。イベントの発信力により、公園の存在や特性についての認知度を向上させている点で大きな効果がある。 ・当該指定期間で事務処理の不備がたびたび見受けられる。公的業務を行う前提として、日常事務の正確性の確保が望まれる。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 東京都動物園（指定管理者：公益財団法人東京動物園協会 指定期間：平成18年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
83	恩賜上野動物園	台東区上野公園	S	<ul style="list-style-type: none"> ・「ドリームナイトアットザズー」、「VisitほっとZoo」など様々なイベント開催により来園者に対する発信とサービスを提供していることは高く評価できる。 ・アイアイの繁殖成功、ジャイアントパンダの凍結精液作製など希少種保全・繁殖のために技術の向上に努め、国の希少種の保護増殖事業に協力したことは高く評価できる。 ・案内係による外国人来園者向けの案内のほか、新たにタブレット端末による映像通訳サービスを導入し、外国人来園者への対応を強化した。また、案内サインの多言語化を図る等、利便性の向上に寄与した点が評価できる。 ・希少種保全・繁殖のために技術の向上に努めつつ積極的に取り組んでいること、様々なイベントや開園時間延長等により、来園者誘致と教育普及活動に積極的に取り組んだことは、高く評価できる。 ・外国人来園者への対応や、季節ごとの入園者誘致の催し、積極的な広告宣伝などにより、入園数が前年度を大きく上回ったことは評価できる。
84	多摩動物公園	日野市程久保六・七丁目、南平八丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリ、トキをはじめ希少種繁殖等に成功しており評価できる。 ・ユニークなイベントをtwitter等に掲載したところメディアに取り上げられ大きな話題になったこと、展示改善、企画参加希望者受入体制の変更等、来園者誘致と教育普及に資する様々な取組を行った点は評価できる。 ・園の特色を生かし、アフリカ15か国がブース出展した都との共催による「アフリカフェア」、ライオンバス休止に伴う「さよならライオンバス」関連イベント等を実施し、多くの入園者を集めたことは評価できる。 ・動物の脱柵や施設ミスなどが発生しており、日常業務について再確認されたい。
85	葛西臨海水族園	江戸川区臨海町六丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・マグロ類の群れ展示を回復させたことは評価できる。 ・移動水族館を本格稼働させ、来園困難な子どもや障害者の方に生き物を身近に体験する場を提供していることは画期的であり、高く評価できる。 ・解説の英語表記を充実させるなど東京2020オリンピック・パラリンピックを意識した多言語への対応は評価できる。 ・12年ぶりの南極圏での生物採集や深海生物の採集により、展示飼育種の充実を図っていることは評価できる。 ・ユメカサゴの繁殖により日本動物園水族館協会の繁殖賞を受賞したことは高く評価できる。 ・各種展示の展開、海外水族館との提携や海外採集の実施など、積極的に来園者誘致や教育普及等に取り組んでいる。全体的に老朽化が進む施設の中で展示を維持していることも含め、高く評価できる。
86	井の頭自然文化園	武蔵野市御殿山一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感のある広報活動は親しみやすく評価も高い。 ・トウキョウダルマガエルの繁殖により日本動物園水族館協会の繁殖賞を受賞したことは高く評価できる。 ・「いきもの広場で遊ぼう」が生物多様性10年委員会生物多様性アクション大賞2015ふれあい部門優秀賞を受賞したことは高く評価できる。 ・恒例イベントの定着に加え、商業施設と連携したイベントの開催などの取組により、指定管理開始以降、過去最高の来園者数を記録したことは評価できる。 ・動物園としては小規模であるが、希少種の保全・繁殖への積極的貢献、近隣も含めたイベント、広報活動による来園者誘致、身近に動物に親しめる展示による教育普及など、高く評価できる。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・3つの基本方針に基づいて4つの取組を進めており、これからもこれらをバランスよく進めていくことを望む。 ・4園一体で飼育技術の継承、向上に取り組むとともに、一体となったイベントや広報活動により来園者誘致に努めていることは評価できる。 ・4園の相互交流による魅力的展示の検討や飼育技術の向上を図っていることは評価できる。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 東京都霊園（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
87	多磨霊園	府中市多磨町四丁目、小金井市前原町一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木点検と迅速な枯れ枝除去を行うとともに5か年の剪定計画に従い幹線道路沿いの植込地整備を行ったことは評価できる。 ・地域住民の参加による防災訓練の実施が連携面で良い効果をもたらしており、評価できる。 ・休憩所にオムツ交換台とパーテーションの設置、車椅子スロープの常備等により、墓参環境の向上を図った。 ・近隣学校の職場体験に協力して、清掃業務等の体験、霊園管理運営業務についての授業を実施した。次世代を担う子供たちへの普及啓発活動を行い、地域に親しまれる運営管理を行っており、高く評価できる。
88	八柱霊園	千葉県松戸市田中新田、紙敷、松飛台、河原塚、日暮	S	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の補修・更新や追加設置、案内板設置など、利用者の利便性向上や安全性確保に積極的に取り組んだことは、高く評価できる。 ・地元中高生を含む地域住民と連携して行った清掃キャンペーンは評価できる。 ・近隣鉄道駅に案内板設置を働きかけ、設置されたことにより、来園者の円滑な墓参環境が整った。 ・南門及び南中央門において懸念となっていた危険走行する車両対策として、道路標識やミラーを設置することにより、来園者の安全性を向上させたことは評価できる。
89	小平霊園	小平市美園町三丁目、東村山市萩山町一丁目、五丁目、東久留米市谷柳窪三丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林樹木墓地における献花台に、天候に左右されず利用できるように雨除けカバー付の遺骨台を制作、設置した。また、大型の臨時焼香台を4基制作、設置し、来園者の利便性の向上を図っている。このような取組の成果として、献花式の参列者が前年度に比べて約3倍に増加した。 ・バックヤードの油倉庫の屋根は、アスベストが含まれていることが判明したため、マニュアルに沿って適切に処理した上で交換を行っている。 ・樹林樹木墓地等の視察、取材等に関する自治体、マスコミ等への適切な対応と臨時焼香台設置による献花式の質の向上を図ったことは高く評価できる。 ・石材店、近隣住民との協力による「小平霊園クリーンデイ」を実施し、100袋のごみを回収することで、園内美化を推進した。
90	八王子霊園	八王子市元八王子町三丁目、川町	A	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒防止のため、園路に独自の滑り止め塗装を実施し、安全性を飛躍的に向上させた。 ・熱中症予防のため既存のベンチに日除けを設置するとともに、景観を壊さぬよう金閣寺垣を設置したことは評価できる。 ・墓参バス、日除け設置など、参拝者の視点での改善に積極的に取り組んでいる点は、高く評価できる。
91	青山霊園	港区南青山二・四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・困障を傷める恐れがある桜の根の除去や近隣からの要望を踏まえたきめ細かな植物管理を行った。また、ハンギングバスケットの設置、蚊対策など適切な管理を着実に実施した。 ・園内の施設改善によるバリアフリー化、管理所カウンターでの職員常駐化、園内樹木の適正管理等により利用者の利便性、安全性確保に努めたことは評価できる。 ・リーフレットによる歴史及び著名人並びに文化財などの情報発信は評価できる。 ・近隣学校との交流による地域に親しまれる霊園の取組は評価できる。

92	谷中霊園	台東区谷中七丁目、上野桜木二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル散策マップによる情報発信は墓参者の利便性を向上させたことから、高く評価できる。 ・テーマごとに記載内容を絞り込んだリーフレットやマップを作成し霊園案内の一助とすることで、利用者に分かりやすく正確な情報を提供することができている。 ・東京2020オリンピック・パラリンピックを意識し、本霊園の魅力を増進させ、外国人に対する知名度をさらに高めてもらいたい。 ・観光スポットとしての利用が増加する中で、周辺地域のまちづくりと連携した取組を望む。
93	雑司ヶ谷霊園	豊島区南池袋四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・長年にわたり、個人墓所の危険樹木の是正を粘り強く要請することにより、解決に導いたことは、高く評価できる。 ・危険樹木所在墓所の適正化を図ったこと、適切な樹木剪定や清掃用具の設置を行ったことなど、利用者の利便性や安全性確保を図ったことは、評価できる。 ・下げ花置場の四ツ目垣製作方法の講習では、本霊園の技術職員が講師を務め、竹の組み方やシュロ縄での結び方を実習し、今後の活動の活性化につなげている。
94	染井霊園	豊島区駒込五・七丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・墓参用のペットボトル設置、下げ花置き場の増設、ベンチの補修など利用者の快適性の追及は高く評価できる。 ・園内施設の改修等により利用者の利便性や安全性確保を図ったことは評価できる。 ・管理所前の車止めスペースを車椅子利用者専用駐車場に変更し、バリアフリー化を促進した。 ・近隣学校の校外学習に協力し霊園への理解を促進したことは、評価できる。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・都の計画、施策に8霊園一体となって連動、連携に努めていること、各施設とも着実に利便性、安全性向上に努めていることは評価できる。 ・8霊園全体において利用者の満足度は高い水準にあり、霊園の維持管理において利用者から好評を得ていることがうかがえる。 ・霊園では、まず施設等の清潔さと来園時の職員の接遇が重要である。その両面において各園とも利用者からの好評を得ていることは評価できる。 ・霊園業務に掲げる「公正で的確な事務の遂行」「安全性・快適性を高める維持管理」「静謐・安心な霊園環境の創出」については10年の指定期間で大きく進展したと考える。今後は「多様なニーズへの対応」について考える必要がある。 ・高齢者の暑さ対策について、更なる組織的な対応を望む。 ・著名人墓所に関する情報をホームページ上で公表することについても検討してもらいたい。

平成27年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 瑞江葬儀所 （指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成26年4月～平成28年3月）				
	施設名	所在地	総合評価	評価内容
95	瑞江葬儀所	江戸川区春江町三丁目二十六番一号	A	<ul style="list-style-type: none"> ・休業日における職員による直接清掃、照明器具の変更、お別れホールにおけるパーテーション設置など御遺族の心情に配慮した細やかな配慮が随所に見えることは大いに評価したい。 ・施設の有効利用として町会の防災訓練の場として提供し、かまどベンチを設置するなど積極的に地元連携を行ったことは評価できる。 ・老朽化した施設を維持管理しつつ、近隣の民間斎場の分を一部受け入れたこと、地域との連携強化に努めていることは評価できる。